

資料 1

各年度の容器包装廃棄物の量の見込の算定方法

区分	年度	令和2年度 (26,593人)	令和3年度 (25,973人)	令和4年度 (25,264人)	令和5年度 (24,561人)	令和6年度 (23,859人)	令和7年度 (23,156人)	令和8年度 (22,454人)	令和9年度 (21,751人)
不燃物 (資源・粗大含む)		1,051	967	940	914	888	862	836	809
可燃物		8,468	8,028	7,809	7,592	7,405	7,157	6,940	6,723
合計 (ごみ排出総量)		9,519	8,995	8,749	8,506	8,293	8,019	7,776	7,532

※人口は、令和4年度まで実績。令和5年度以降は、推計人口(過去5年間の平均減少数に基づいて算出)。

缶	主としてスチール製の容器	44	43	42	41	39	38	37	36
	主としてアルミ製の容器	57	56	54	53	51	50	48	47

ガラス製容器	無色のガラス製容器	64	62	60	59	57	55	54	52
	茶色のガラス製容器	127	123	120	116	113	110	106	103
	その他のガラス製容器	30	29	28	27	26	26	25	24

紙製容器	主として紙製の飲料用容器	0	0	0	0	0	0	0	0
	※R2—平均値0.5%	48	45	44	43	41	40	39	38
	主として段ボール製の容器	75	79	76	74	72	70	68	66
	その他の紙製容器包装	0	0	0	0	0	0	0	0
	※R2—平均値2.5%	238	225	219	213	207	200	194	188

プラスチック	主としてPET製の容器	65	68	66	64	62	60	58	57
	白色トレイ	0	0	0	0	0	0	0	0
	※R2—平均値0.3%	29	27	26	26	25	24	23	23
	その他のプラスチック製容器	0	0	0	0	0	0	0	0
	※R2—平均値8.1%	771	729	709	689	672	650	630	610
容器包装全体計		462	460	446	434	420	409	396	385

※令和3年度実績を基準として、人口比例配分。

※実績のないものは、「計画策定の手引き」P33、人口規模別の調査事例・環境省の一般廃棄物組成調査結果から得られた平均値に基づく。